

TOSS授業技量検定 検定審査員の規定

受検表	認定条件	授業時間	受検できる場	審査員の条件
F表 (35～39級)			各サークル	20級以上の1名
E表 (28～35級)				
D表 (21～30級)	審査員が、受検者の指導案や授業を事前に一度でも検討（コメント・代案等）した場合、その受検者の検定はできない	5分位	公開の場	シングル級以上の2名
C表 (11～20級)		5分～7分位	公開の場	・初段以上の2名 ・審査員名簿に記載されている審査員に依頼する
B表 (1～10級)		7分～10分位	各中央事務局及び青年事務局主催の検定セミナー、全国ネットで行われている各教科セミナー、授業技量検定事務局主催セミナー（いずれも年間1回開催可）	・三段以上の3名 ・審査員名簿に記載されている審査員に依頼する
A表 (師範～初段)		10分～12分位		・五段以上の3名 ・審査員名簿に記載されている審査員に依頼する ・高段者（五段以上）検定は、 ①TOSS代表（谷和樹） ②最高段位者（十段）の審査員 ③五段以上審査員 の計3名による審査を必要とします ※五段になる場合（四段取得済みの者が受検する場合）も適応されます